

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F126310107573	設置等組織名	生活環境科学部 人間生活科学科（仮称）、食環境科学科（仮称）
大学名	同志社女子大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	京都	事業計画名	同志社女子大学 生活環境科学部（仮称）人間生活科学科（仮称）、食環境科学科（仮称）設置計画

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間		事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1		1-① 令和6年 7月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置計画立案のための検討委員会の設置およびコンサルtant契約の実施 1-② 令和6年 7月～ 企業や自治体、他大学と連携した科目の設置や連携事業を推進するための協議の実施 1-③ 令和6年 9月～ 受験生のニーズや進学動向を把握、分析するための社内校・教育連携校を対象としたニーズ調査および進路指導部との協議・懇談の実施 1-④ 令和7年 1月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置に向けた設置準備委員会および人事委員会の設置 1-⑤ 令和7年 3月～ 多様な入学者の確保に向けた入学者選抜（方式・科目）策定に向けた検討の開始 1-⑥ 令和7年 3月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置に向けた教員採用の実施 1-⑦ 令和7年 9月～ 設置認可申請に向けた就職（企業）と入学（高等学校）に対するアンケート調査の実施 1-⑧ 令和7年11月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の認可申請に関する学内審議の実施	1-① 令和6年7月 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置計画立案のための検討委員会の設置 1-② 令和6年7月～ 企業や自治体、他大学と連携した科目の設置や連携事業を推進するための検討の開始 1-③ 令和6年9月～ 受験生のニーズや進学動向を把握、分析するための高校生や高校教員を対象としたニーズ調査および進路指導部との協議・懇談の実施方法等の検討 1-③ 令和7年2月～ 高校生への需要調査、高校教員へのヒアリング調査、文献調査の実施。分析結果に基づく新学部・学科設置の方向性の検討 1-④ 令和7年8月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置に向けた設置準備委員会および人事委員会の設置（未実施・R7.3.10承認） 1-⑤ 令和7年8月～ 多様な入学者の確保に向けた入学者選抜（方式・科目）策定に向けた検討の開始（未実施・R7.3.10承認） 1-⑥ 令和7年8月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置に向けた教員採用の実施（未実施・R7.3.10承認） 志願者動向データや市場データの分析、女子高校生アンケート及び高校教員ヒアリング等の結果、新設予定の両学科において安定的な学生確保が困難であることが判明した。 これらの理由により、本事業の廃止を決定し、事業の廃止申請に至った。（事業廃止承認日：令和8年3月24日）	R6年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 女子大学の志願者の減少や本学の状況を鑑み、フェーズ1における需要調査について、より精度の高い情報収集と分析を行い、今後の計画を具体的に進めることとし、当初の事業計画から調査対象を拡大し、高校生へのWebアンケートによる需要調査、高校教員へのヒアリング調査、文献調査を実施した。調査結果の分析を行った上で、本事業の方向性や具体的な計画の検討を進めて行く。（R7.3.10承認）
	フェーズ2 前倒し	2-① 令和7年 4月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習室のための心和館の改修 2-② 令和7年 4月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習室のための新校舎の建設		○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は届出		令和8年3月 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科 認可申請予定			
フェーズ1後倒し		1-⑨ 令和8年4月 開設準備および入学者の確保に向けた広報活動の実施		○年度自己評価	リストから選択してください。
	フェーズ2	2-① 令和7年から継続～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習室のための心和館の改修 2-② 令和7年から継続～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習室のための新校舎の建設 2-③ 令和8年10月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習に必要な設備・機器の導入		○年度自己評価	リストから選択してください。
開設又は定員増		令和9年4月 生活環境科学部人間生活科学科（入学定員100人、家政関係・工学関係）、食環境科学科 開設（入学定員160人、家政関係・農学関係）			
フェーズ2後倒し				○年度自己評価	リストから選択してください。
	フェーズ3	3-① 令和9年 4月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置と教育・研究活動について広く社会に発信するためのシンポジウムや講演会の実施 3-② 令和9年 4月～ 高等学校に対する高大接続推進のための出張講義、体験型授業の実施 3-③ 令和9年 4月～ 多様な入学生確保に向けた説明会や相談会の実施 3-④ 令和9年 4月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の認知度向上や十分な学生確保を実現するための広報活動の実施 3-⑤ 令和9年 4月～ 企業開拓や学生の出口保障に向け、企業に本学の学びを発信するための活動の実施 3-⑥ 令和9年 4月～ PBL科目等の連携事業のさらなる充実のため、企業、自治体、他大学との協議の継続的な実施 3-⑦ 令和10年3月～ 教育研究活動のさらなる充実のために、在学生に対するアンケート調査の実施		○年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止		令和9年度 既存学部学科260人減員予定			